

1/7 朝日

## 看護師が希望持てる労働環境に

### 看護師

(米国 51)

米ニューヨークで看護師をしてい  
る。新型コロナ感染拡大の中、離職  
する日本の看護師のニーズが海外  
のメディアでも取り上げられてお  
り、同業者として胸が痛い。

昨年3月にパンデミックとされた  
時、ニューヨーク市内の病院のコロ  
ナ専門集中治療室では看護師不足と  
医療崩壊が起きた。私たち看護師は  
次々に重症患者の命が失われていく  
過酷な環境で働いてきたが、離職率  
は低かった。しかし使命感だけでは  
働き続けられないことも実感した。

固定12時間2交代制の整った勤務  
でいい時があれど、

体系、医療従事者への差別もなく、  
超過勤務手当もきちんと支払われた  
ことや州政府からの援助があったこ  
とが、看護師の離職を食い止めたと  
考えられる。清掃部や調理部などの  
様々な部署が皆マスクやガウンを着  
て連携し、一丸となって働いたこと  
で、看護師は自分の仕事に専念でき  
た事実も大きい。

終わりの見えない世界的なパンデ  
ミックにおいては、地域や国を超  
えて情報交換し、学び合い、助け合う  
必要があるのかも知れない。そして  
今こそ看護師が希望を持って働き続  
けることができる環境づくりを進め  
ていってほしい。